

宣言

憲法發布議會開設以來將サ二十年ナラントス、而シテ此間解散ハ既ニ五回ノ多キニ及ヒ憲政ノ實未タ全ク舉ラス政黨ノ力未タ大ニ伸ヒス、是ヲ以テ藩閥ノ餘弊尙ホ固結シ、爲メニ朝野ノ和協ヲ破リ、國務ノ遲滯ヲ致セリ、是レ舉國忠愛ノ士ノ深ク慨嘆スル所ナリ、今ヤ吾人ハ内外ノ形勢ニ鑑ミ斷然自由、進歩ノ兩黨ヲ解キ廣ク同志ヲ糾合シテ一大政黨ヲ組織シ、更始一新以テ憲政ノ完成ヲ期セントス、因テ茲ニ之ヲ宣言ス

綱領

- 一 皇室ヲ奉戴シ憲法ヲ擁護スル事
- 一 政黨内閣ヲ樹立シ閣臣ノ責任ヲ嚴明ニスル事
- 一 中央權ノ干涉ヲ省キ自治制ノ發達ヲ期スル事
- 一 國權ヲ保全シ通商貿易ヲ擴張スル事
- 一 財政ノ基礎ヲ鞏固ニシ歲計ノ權衡ヲ保ツ事
- 一 内外經濟共通ノ道ヲ開キ産業ヲ振作スル事
- 一 陸海軍ハ國勢ニ應シ適度ノ設備ヲ爲ス事
- 一 運輸交通ノ機關ヲ速成完備スル事
- 一 教育ヲ普及シ實業科學ヲ獎勵スル事

黨則

- 第一條 本黨ハ本部ヲ東京市ニ置キ支部一ヶ所ヲ各府縣ニ置ク但府縣ノ事情ニ因リ本部ノ認可ヲ得テ増置スルコトヲ得
- 第二條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク但任期ハ各一年トシ再選スルコトヲ得
 - 一 總務委員 四名
 - 一 評議員 三十名
 - 一 幹事員 五名
 - 一 事務員 若干名
- 第三條 總務委員ハ大會ニ於テ之ヲ選舉シ本黨一切ノ黨務ヲ總理ス
- 第四條 總務委員ハ評議員會ニ出席シテ意見ヲ述フルコトヲ得但可否ノ數ニ加ハルヲ得ス
- 第五條 評議員ハ大會ニ於テ之ヲ選舉シ本黨重大ノ事件ヲ評決ス
- 第六條 幹事ハ總務委員之ヲ選任シ黨務ヲ擔任ス
- 第七條 事務員ハ幹事之ヲ選任シ其指揮ニ依リ庶務ヲ處理ス
- 第八條 大會ハ本黨代議士及前代議士并ニ各府縣選出ノ代議員ヲ以テ之ヲ組織ス但代議員ハ一府縣四名ヲ以テ定員トス
- 第九條 大會ハ帝國議會開會前東京ニ於テ之ヲ開キ黨議ノ大綱ヲ議定シ及前期間黨務ノ成績會計決算ノ報告ヲ受ク
- 第十條 臨時大會ハ總務委員ニ於テ緊要ノ事件アリト認ムルトキ之ヲ開ク
- 第十一條 評議員會ハ總務委員之ヲ召集ス但評議員五名以上ノ請求ニ依リ之ヲ開クコトヲ得
- 第十二條 支部ノ規約ハ本部ノ承認ヲ受ルコトヲ要ス
- 第十三條 入黨セント欲スル者ハ黨員二名以上ノ紹介ヲ以テ所屬支部ニ申込ミ承認ヲ受ルヲ要ス
- 第十四條 脫黨セント欲スル者ハ所屬ノ支部ニ届出ヘシ
- 第十五條 黨員ニシテ不都合ノ所爲アリト認ムル者ハ之ヲ除名ス
- 第十六條 本黨ノ經費ハ黨員ノ負擔トス
- 第十七條 黨則ハ大會ノ決議ヲ以テスルニアラサレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

附則

- 一 今回選舉ノ役員ハ次ノ大會ニ於テ改選スルモノトス
- 一 評議員ハ次ノ大會ニ於テ選舉スルモノトス

總務委員

大 東 義 徹 尾 崎 有 行 雄
 松 田 正 久 林 有 造

幹事

箕 浦 勝 人 栗 原 亮 一
 竹 内 正 志 伊 藤 大 八
 降 旗 元 太 郎

明治三十一年六月廿二日

東京芝公園第五號地二番

憲政黨本部